



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社 サニックス

上場取引所 東 福

コード番号 4651 URL <https://sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部経営企画部長 (氏名) 曾我 拓

TEL 092-284-5072

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,081	2.3	154	54.8	73	72.9	63	63.6
2023年3月期第1四半期	11,346	2.8	341		270		174	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 98百万円 ( 54.7%) 2023年3月期第1四半期 217百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	1.33	
2023年3月期第1四半期	3.66	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	33,642	6,166	18.3	128.58
2023年3月期	33,586	6,068	18.0	126.51

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,146百万円 2023年3月期 6,047百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2024年3月期	0.00				
2024年3月期(予想)		0.00	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,873	5.4	1,452	94.6	1,336	118.5	1,035	133.8	21.65
通期	47,965	3.6	3,231	81.0	3,014	94.2	2,495	87.3	52.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	48,919,396 株	2023年3月期	48,919,396 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,114,983 株	2023年3月期	1,114,983 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	47,804,413 株	2023年3月期1Q	47,804,498 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	9
部門別連結売上高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～6月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置付けられたことを受け、インバウンド需要の回復もあり緩やかに回復してまいりました。しかしながら、資源・エネルギー価格の高騰や円安進行に伴う原材料価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような社会情勢において、当社グループは、企業理念である「次世代へ快適な環境を」のもと、住環境領域、資源循環領域、エネルギー領域の各領域において、事業を通じた社会課題の解決を推進し、持続可能な社会づくりに引き続き取り組んでまいりました。

また、当社グループは、既存事業の着実な成長により「稼ぐ力」を強化し、安定的な財務基盤を確保するとともに、戦略投資枠を設定し、将来の成長に向けた積極的な成長投資を開始する期間として「中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)」を策定しました。戦略投資の実行により将来の成長を加速し、更なる戦略投資枠の拡大を目指してまいります。

(詳細は当社ホームページをご参照ください。[https://sanix.jp/report/671/report\\_671\\_784.pdf](https://sanix.jp/report/671/report_671_784.pdf))

売上高につきましては、環境資源開発事業部門が発電所売上で今年度の売電契約単価が上がったことにより増収(前年同期比10.4%増)となったものの、新電力事業部門において電力調達コストの上昇によるリスクを回避するため事業縮小を進めたことで減収(前年同期比54.8%減)となりました。この結果、グループ全体の売上高は11,081百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

利益につきましては、2023年4月の苫小牧発電所におけるボイラー・タービンの法定点検に伴う修繕費を計上した影響もあり、グループ全体の損益は、154百万円の営業利益(前年同期比54.8%減)、73百万円の経常利益(前年同期比72.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は63百万円(前年同期比63.6%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### <住環境領域>

##### HS事業部門

HS事業部門では、前期より新規顧客の開拓を重視した営業方針を強化し、顧客基盤の拡充に向けた取り組みを推進してまいりました。この結果、「白蟻防除施工」が新規顧客契約の増加により前年同期比8.3%増となったものの、主に既存顧客を対象とした「床下・天井裏換気システム」が前年同期比13.3%減、「基礎補修・家屋補強工事」が前年同期比16.7%減となり、売上高は3,027百万円(前年同期比9.5%減)となりました。

営業損益は、前年同期比減収となったため、445百万円の営業利益(前年同期比31.7%減)となりました。

##### ES事業部門

ES事業部門では、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係強化を進めてまいりました。主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比2.0%減となりましたが、「建物給排水補修施工」が前年同期比37.9%増、「建物防水塗装補修施工」が前年同期比30.2%増となりました。この結果、売上高は618百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

営業損益は、材料費等の原価が増加したことにより、10百万円の営業損失(前年同期は13百万円の営業損失)となりました。

##### SE事業部門

SE事業部門では、前期に事業部を立ち上げ、戸建てに特化した太陽光発電システム等の販売に注力してまいりました。前年同期比で蓄電池の販売は増加したものの、太陽光発電システムの完工件数が減少しました。この結果、売上高は292百万円(前年同期比27.1%減)となりました。

営業損益は、減収となったものの採算性の改善を進めたことにより、33百万円の営業損失(前年同期は44百万円の営業損失)となりました。

#### <エネルギー領域>

##### PV事業部門

PV事業部門では、企業・法人向けに自家消費型太陽光発電システム等の販売施工、自治体へのPPA事業の提案、土地付太陽光発電所の販売、既設太陽光発電システムの機器交換、メンテナンス等に注力してまいりました。この結果、売上高は2,064百万円(前年同期比22.0%増)となりました。

営業損益は、材料資材等の価格上昇の影響もあり、41百万円の営業損失(前年同期は67百万円の営業損失)となりました。

#### 新電力事業部門

新電力事業部門では、電力調達コストの上昇により採算性の確保が困難であると判断し、昨年来、事業縮小を進めてまいりました。この結果、売上高は583百万円（前年同期比54.8%減）となりました。

営業損益は、事業構造の見直しにより採算性を改善することができ、32百万円の営業利益（前年同期は28百万円の営業損失）となりました。

#### <資源循環領域>

##### 環境資源開発事業部門

環境資源開発事業部門では、廃棄物の受入量が減少したことにより「プラスチック燃料」が前年同期比2.5%減、「廃液処理」が前年同期比5.8%減、「埋立処理」が前年同期比9.5%減となりました。一方、苫小牧発電所の売電契約単価が上昇したことにより「発電所売上」が前年同期比62.9%増となりました。この結果、売上高は4,495百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

営業損益は、苫小牧発電所の法定点検による修繕費を計上したことにより497百万円の営業利益（前年同期比30.1%減）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は12,850百万円となり、前連結会計年度末比で833百万円減少しました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が272百万円増加し、現金及び預金が1,111百万円減少したためであります。

固定資産は20,791百万円となり、前連結会計年度末に比べ888百万円増加しました。主な要因は、建設仮勘定が増加したことと有形固定資産のその他（純額）が600百万円、機械装置及び運搬具（純額）が381百万円それぞれ増加したためであります。

この結果、総資産は、33,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加しました。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は16,509百万円となり、前連結会計年度末比で126百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が661百万円減少し、未払金が884百万円増加したためであります。

固定負債は10,966百万円となり、前連結会計年度末比で169百万円減少しました。主な要因は、長期未払金が増加したことにより固定負債のその他が135百万円増加し、長期借入金341百万円減少したためであります。

この結果、負債合計は、27,475百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円減少しました。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は6,166百万円となり、前連結会計年度末比で98百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益63百万円を計上したためであります。

この結果、自己資本比率については18.3%（前連結会計年度末は18.0%）となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,504	3,392
受取手形及び売掛金	4,827	4,542
商品及び製品	163	152
未成工事支出金	134	194
原材料及び貯蔵品	2,901	3,173
その他	1,382	1,525
貸倒引当金	△229	△131
流動資産合計	13,683	12,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,355	2,280
機械装置及び運搬具(純額)	4,286	4,668
土地	8,209	8,211
その他(純額)	1,250	1,851
有形固定資産合計	16,100	17,010
無形固定資産	595	607
投資その他の資産	3,206	3,173
固定資産合計	19,902	20,791
資産合計	33,586	33,642
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,463	1,801
電子記録債務	782	977
短期借入金	3,462	3,719
1年内返済予定の長期借入金	1,372	1,364
1年内償還予定の社債	200	200
未払金	3,296	4,180
未払法人税等	350	122
賞与引当金	263	404
再資源化費用等引当金	11	9
その他	4,178	3,727
流動負債合計	16,382	16,509
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	5,472	5,130
役員退職慰労引当金	4	4
処分場閉鎖費用引当金	523	535
退職給付に係る負債	2,104	2,127
その他	2,531	2,666
固定負債合計	11,135	10,966
負債合計	27,518	27,475

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	14,041
利益剰余金	△6,666	△6,602
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	5,893	5,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72	80
為替換算調整勘定	106	127
退職給付に係る調整累計額	△24	△18
その他の包括利益累計額合計	154	189
非支配株主持分	20	19
純資産合計	6,068	6,166
負債純資産合計	33,586	33,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	11,346	11,081
売上原価	7,266	7,323
売上総利益	4,080	3,757
販売費及び一般管理費	3,738	3,603
営業利益	341	154
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	1	2
受取地代家賃	15	15
その他	23	15
営業外収益合計	45	38
営業外費用		
支払利息	77	64
固定資産除却損	13	42
その他	25	12
営業外費用合計	116	119
経常利益	270	73
税金等調整前四半期純利益	270	73
法人税、住民税及び事業税	57	42
法人税等調整額	39	△32
法人税等合計	97	9
四半期純利益	173	63
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	174	63



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	173	63
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	8
為替換算調整勘定	44	20
退職給付に係る調整額	0	6
その他の包括利益合計	43	35
四半期包括利益	217	98
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218	98
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	HS 事業部門	ES 事業部門	SE 事業部門	PV 事業部門	新電力 事業部門	環境資源 開発 事業部門	合計		
売上高									
外部顧客への 売上高	3,344	547	401	1,691	1,289	4,071	11,346	—	11,346
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,344	547	401	1,691	1,289	4,071	11,346	—	11,346
セグメント利 益又は損失 (△)	651	△13	△44	△67	△28	710	1,208	△866	341

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用866百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	HS 事業部門	ES 事業部門	SE 事業部門	PV 事業部門	新電力 事業部門	環境資源 開発 事業部門	合計		
売上高									
外部顧客への 売上高	3,027	618	292	2,064	583	4,495	11,081	—	11,081
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,027	618	292	2,064	583	4,495	11,081	—	11,081
セグメント利 益又は損失 (△)	445	△10	△33	△41	32	497	890	△735	154

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用735百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

部門別連結売上高

(単位：百万円)

品 目	期 別	数量 単位	前第1四半期 連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日		当第1四半期 連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日		比 較 増 減	
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
			白蟻防除施工	千坪	170	1,115	190	1,208
床下・天井裏換気システム	—	—	821	—	712	—	△108	
基礎補修・家屋補強工事	軒	1,126	486	918	405	△208	△81	
その他	—	—	920	—	701	—	△219	
H S 事業部門計	—	—	3,344	—	3,027	—	△317	
防錆機器取付施工	本	182	223	180	218	△2	△4	
建物給排水補修施工	—	—	172	—	238	—	65	
建物防水塗装補修施工	—	—	52	—	67	—	15	
その他	—	—	99	—	93	—	△5	
E S 事業部門計	—	—	547	—	618	—	71	
太陽光発電システム	—	—	401	—	292	—	△109	
S E 事業部門計	—	—	401	—	292	—	△109	
太陽光発電システム	—	—	1,628	—	2,034	—	405	
太陽光発電システム卸販売	—	—	39	—	7	—	△32	
その他	—	—	23	—	22	—	△0	
P V 事業部門計	—	—	1,691	—	2,064	—	372	
売電収入	—	—	1,289	—	583	—	△706	
新電力事業部門計	—	—	1,289	—	583	—	△706	
プラスチック燃料	t	68,837	2,438	68,522	2,376	△315	△61	
発電所売上	—	—	753	—	1,227	—	473	
廃液処理	t	25,679	511	23,310	481	△2,369	△29	
埋立処理	—	—	251	—	227	—	△23	
その他	—	—	117	—	183	—	65	
環境資源開発事業部門計	—	—	4,071	—	4,495	—	423	
その他	—	—	—	—	—	—	—	
セグメント間の内部売上高調整額	—	—	—	—	—	—	—	
売上高計	—	—	11,346	—	11,081	—	△264	

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。